

子育て



私の視点「なぜここを質問したか」

今年度、国が制定した「こども基本法」「こども大綱」を踏まえた「宇美町こども計画」が策定された。今後の宇美町の子育て施策についてお尋ねしたい。

やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員

録画配信は
こちらから▶



「宇美町こども計画」と町の子育て施策の将来像は

答弁 (町長) こどもまん中のまちづくりを進めたい

問 新規事業の中で町が力を入れたい部分は。
答 こどもみらい課長
一つ目の子育て短期支援事業では、保護者の疾病や育児疲れなどで一時的に養育が困難になった場合に、施設で一定期間子どもを保護する「子どもショートステイ事業」など。令和7年4月より利用開始している。



問 「宇美町こども計画」の趣旨は。
答 こどもみらい課長
妊娠から青年期までライフステージごとに支援やサービスを届ける。
また、社会全体で、こども・若者、子育て世帯を見守り、効果的なこども施策を推進する。

問 こども・若者の居場所づくりとは。
答 こどもみらい課長
昨年実施した若者トークカフェやこども会議を通じて、居場所づくりの提案を受けた。中高生の居場所は町内一か所で気軽に自由に過ごせる場所、小学生の居場所は長期休業中に各小学校区で学習の場の提供と

問 「こども家庭センター」と「子育て支援センター」の今後は。
答 こどもみらい課長
こども家庭センターは妊娠から子育て、就学前に至る相談支援にワンストップでアクセスできる窓口。
子育て支援センターは就学前の親子が自由にすごせる施設。今後も機能、相談支援体制の充実強化を図る。

問 二つ目のこども誰でも通園制度は、現行制度に加え一定の利用枠内で保育園・幼稚園の通園ができる。令和8年度の本格実施に向けて準備を進めている。
答 こどもみらい課長
二つ目のこども誰でも通園制度は、現行制度に加え一定の利用枠内で保育園・幼稚園の通園ができる。令和8年度の本格実施に向けて準備を進めている。

体験活動を実施する。

問 子ども・子育て支援条例の見直しは。
答 こどもみらい課長
理念や内容の変更などが生じた場合は、条例の改正を検討する必要がある。

問 宇美町の子育て施策の将来像は。
答 町長
「宇美町こども計画」では「こどもまん中のまちづくり」を目標としている。
こども会議で子どもたちが提案した子どもの居場所を実現するのが私の仕事。子どもたちが「宇美町が大好きなんだ」と胸を張って言えるまちにしたい。

質問を終えて
「宇美町こども計画」は今後の宇美町の子育て施策を推進する重要な計画である。今後の取組に期待したい。

交流人口



私の視点「なぜここを質問したか」

本町は観光資源やスポーツ資源も豊富であるが、その資源を生かし切れていない。交流人口を増やし、町を元気にしていくための方策を問う。

まるやま やすお
丸山 康夫 議員

録画配信は
こちらから▶



交流人口を増やして町を元気にする施策は

答弁 (町長) 福岡J・アンクラスと連携を進める

問 本町の入込客数の推移は。
答 シティプロモーション課長
コロナ禍の令和2年は73万人と減少したが、令和6年度は約120万人で過去最高となった。
問 これまでに取り組んできたプロモーション事業は。
答 シティプロモーション課長
公式インスタグラムの開設をはじめ、ホームページのリニューアル、10年ぶりの観光パンフレット発行など情報発信に力を入れている。
問 国指定特別史跡「大野城跡」の日本遺産再登録を目指す考えは。
答 原田副町長
再申請は、最速で令和7年度末に行い、令和8年度の審査となるが、この最短ルートで評価審査委員会が求めている課題を解決し、改善策が提示できるかどうかは、現在のところ厳しい状況だ。

問 本町唯一の国指定重要文化財である四王寺山から出土した
問 国指定重要文化財の展示を行うには、町立歴史民俗資料館の大規模な改修工事が必要であり、大変難しい。
答 経筒が保管されている九州歴史資料館へのバスツアーを計画するなど、周知に努めたい。
問 一本松公園の活用策は。
答 都市整備課長
一本松公園は、都市計画マスタープランにレクリエーション拠点として位置付けており、今後は緑の基本計画に機能拡充を盛り込む。
その後は、国の交付金を活用して基本設計に着手する。

質問を終えて
女子サッカーチームのホームタウン誘致を契機に、スポーツツーリズムの力で多くの方を宇美町に呼び込みたい。



6月30日に福岡J・アンクラスと協定締結

向けて準備を進めている。
本町がホームタウンとなることで、地域活性化の起爆剤になると確信している。